

# 3月3日と言えば

3月3日と言えば、「ひな祭り」ですが、沖縄では…?

現在のひな祭りの意味としては、<sup>ひな</sup>雛祭りは女子のすこやかな成長を祈る節句の年中行事。ひいなあそびともいう。ひな人形(「男雛」と「女雛」を中心とする人形)を飾り、桃の花を飾って、白酒や寿司などの飲食を楽しむ節句祭り。雛あられや<sup>ひしもち</sup>菱餅を供える。



## 沖縄のひな祭りは「浜下り」

旧暦の3月3日は、沖縄ではひな祭りに相当する行事である「<sup>はまう</sup>浜下り」の日です。ひな祭りでは外出するイメージはそこまで強くないものですが、沖縄の浜下りは大きく異なり、この日は家にはいけない日であるとされているのです。浜下りは文字通り浜、つまり海岸に乗り出すことがメインとなります。旧暦の3月3日は、2日前が新月(旧暦では1日が新月となるため)で、大潮となります。3日は大潮で浜が広がっていて、女の子は白砂を踏んで身を清める日であるとされました。現代においてはその風習の名残で、浜下りの日には家族や親しい女性グループでお弁当を持って海岸に遊びに行きます。身を清めるという習慣まで覚えているかはさておき、この日は海岸でお弁当を食べて遊んだり、時には踊ったりしながら楽しく過ごすのです。

浜下りの日には、海岸で遊ぶ以外にも、潮干狩りをしたり貝を拾ったりする習慣があります。確かに、海岸で潮干狩りをしたり貝を拾うことは珍しいことではありませんが、この日は潮干狩りが特に大きな意味を持つのです。ひな祭りではお祝い料理として「はまぐり」や「あさり」などが使われます。これらは、潮干狩りで入手できる食材です。その調達の意味も込めて、浜下り際に潮干狩りや貝拾いが行われるようになったのかもしれませんが。

現在でも、浜下りの日には家族や友人同士で集まって、潮干狩りを楽しむ姿を目撃することができます。



<「真多呂人形」のHPのコラムから引用>

# 不退転

第138号  
東江中学校  
校長 神元 勉

日本には平安時代を起源とする「五節句」という行事があり、季節の節目に身の穢れを祓い、健康長寿や厄除けを願う風習がありました。その一つが、3月3日の桃の節句です。しかし、沖縄で雛壇を飾っている家庭を私は、見た覚えがありませんが、実情はどうなのでしょう?

沖縄タイムス  
2017年3月2日

## 大弦小弦

プロボクシングの元世界チャンピオン、具志堅用高さん(61)に、高校受験で答案用紙に名前を書き忘れて不合格となった逸話がある▼以前聴いたラジオ番組で本人が明かしていた。一緒に受験した友人

4人のうち不合格になったのは具志堅少年だけで、「本当にシヨクだった」と振り返っていた▼傷心の具志堅少年は古里石垣島を離れ、沖縄本島の興南高校に入学する。そこでボクシングと出会い、恩師らに才能を見いだされて、世界タイトルを13回も防衛する天才ボクサーになった▼プロサッカー選手の本田圭佑さん(30)も中学3年の時、屈辱を味わっている。当時所属するガンバ大阪のジュニアユースからユース(高校の年代)に昇格できなかったからだ▼本田少年も悔しさをバネに高校で練習を積み、卒業時にはプロのスカウトが来るレベルまで成長した。その時の経験から、「挫折は過程。最後に成功すれば挫折は過程に変わる。だから成功するまで諦めない」が信条だという▼3月は旅立ちの時。10代の皆さんは進路に悩み、勉強やスポーツで壁にぶつかり、つまずくこともあるだろう。でも大丈夫。先輩の言葉を借りれば「挫折は過程」であり、「答案用紙の上には名前を書く欄があったんだよ」と、天才ボクサーのように若き日の挫折を笑い話にできる日がきつと来る。(稲嶺幸弘)